

■■化学療法投与計画書《UFT/LV+BV療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)ベバシズマブ 5 mg/kg 点滴静注 Day1、15  
 テガフル／ウラシル 300mg/body 内服(1日3回) day 1(夕)～22(昼)  
 ホリナート 75mg/body 内服(1日3回) day 1(夕)～22(昼)

本管①	Day1
生理食塩液	100mL 1 瓶

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	全量100mLに調製
【mL】生理食塩液	100mL mL
ベバシズマブ	mg
<腫>ベバシズマブBS点滴静注	400mg
<腫>ベバシズマブBS点滴静注	100mg

※初回90分 忍容性良好時2回目60分 以降30分で投与可

Day15へ続く

- ★ベバシズマブ投与期間中、以下の初期症状に注意すること  
 (※緊急対応を要する副作用の可能性)
- ・突然起こる強い腹痛
  - ・下血
  - ・喀血
  - ・突発性意識障害
  - ・神経症状・頭痛・嘔気嘔吐・めまい
  - ・胸痛(胸部圧迫感)
  - ・呼吸困難・咳嗽
  - ・下肢の腫脹、疼痛、色調変化
  - ・急激又は著しい血圧上昇

<実施時の注意>

●ベバシズマブ  
 高血圧があらわれることがあるので、投与期間中は血圧を定期的に測定し、適切な処置を行うこと。  
 蛋白尿があらわれることがあるので、投与期間中は尿蛋白を定期的に検査することが望ましい。  
 ブドウ糖溶液と混合した場合ベバシズマブの力価の減弱を生じるおそれがあるため、ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。

<注意すべき副作用>

- 食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●色素沈着 ●皮疹 ●下痢 ●肝機能異常 ●脱毛
- 白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少